

お待たせ復活バイクレース

IN 大村湾サーキット

大会規則書

① エントリーに関して

エントリー期間：9月15日（金）～10月8日（日）

エントリー方法：大村湾サーキットのホームページよりエントリーシートのダウンロードを行いエントリーシートのFAXもしくは郵送もしくは大村湾サーキットにて提出

入金方法：銀行振り込み（十八親和銀行 普通口座 1729053 有限会社 大村湾サーキット）
大村湾サーキットへ直接持っていく

① レース開催日時

場所：大村湾サーキット

〒856-0011 長崎県大村市重井田町 650

TEL：0957-55-4979 FAX：0957-55-6871

10月8日（日） 特別走行枠（バイク、レンタルカートのみ）

10月14日（土）前日練習枠（ミニバイクのみ←台数が多い場合はタイムによるクラス分け 16時～17時
前日車検）

10月15日（日） レース決勝日

② 開催クラス

スプリント（12周）

5クラス開催（但し各クラス5台以上集まらなければ混走、もしくはレース不成立となる）

① SP12「HSR九州のSF100、SP100、SP50に準ずる（但しSF100はキャブの口径22mmまでとする）」

② ST125「HSR九州のST125に準ずる（但しZ125は社外カムの使用可能）」

③ ST17「HSR九州のST17に準ずる」

- ④ **オープンクラス**「排気量 2st65cc、4st150cc 未満の改造無制限クラス」(MR150、CBR150 や排気量制限内の排気量の車両)
- ⑤ **無差別級クラス**「排気量 2st125cc、4st250cc 未満のミニバイクと呼べるバイクの改造無制限 (スリックタイヤ使用可能)」(S8、ハイパーミニなど)

耐久 (2 時間)

S P 1 2、S T 1 2 5、S T 1 7 の 3 クラス混走 (表彰は各クラス毎)

③参加料金

大村湾サーキットコースライセンス 取得 6.600 円 (税込み) 更新 3.300 円 (税込み)

スプリント 各クラス 7.700 円 (税込み)

耐久 1 チーム 17.600 円 (税込み)

スポーツ保険に加入必須 (サーキット側で手配) 1.850 円 (税込み)

④参加資格

大村湾サーキットライセンスが必要

運転免許証所持者、健康でレース出場するにふさわしい良識的判断の出来る方 (20 歳未満は、親権者の同意を必要とする)

⑤ 装備

ライダーの装備は、競技を安全に行うことが出来る物でなければならない。

革製のレーシングスーツ (2 ピース不可)、ブーツ、グローブ、ヘルメットリムーバー、チェストガード、脊椎パッドを着用、破れほつれ等のあるものは一切使用出来ない。ヘルメットはフルフェイス (システムヘルメット不可) で角張っていない物及び損傷の無い物を装着すること。インカム等のベースは外すこと。

⑥ 参加定員

スプリント 各クラス 25 台 ※台数の少ないクラスは混走とする

耐久 25 チーム

⑦競技内容

スプリント 各クラス 15 周 (練習走行 & 公式予選 15 分)

耐久 2 時間 (練習走行 & 公式予選 20 分)

耐久決勝スタート方法

予選結果順のル・マン式スタートとする。フライングしたものは、ピットストップのペナルティが課せられる。スタート合図は、日章旗で行う (スタートグリッドは、予選結果にて行います。)

エンジンスタートは、スタート 1 分前から補助ライダーと掛けることができる。スタート 30 秒前までエンジンがかからない場合は、スタート後グリーンフラッグ振動合図後、再始動を試みることができる。

※エンジンが始動しない場合はプラットホームとホワイトラインの間を通過してピットに戻りメカニックの作業

後、再スタートできる。

※予選を走行していない場合は、予選結果の最後尾から受付順にて整列をする

⑧ガソリン給油

ガソリン給油の際は、給油エリア（電光掲示板下あたり）にてエンジン停止、ライダーは降車し、スタンド等で保持した状態で給油を行ってください。

ガソリン給油は、携行缶もしくは金属製のクイックチャージャーに限る。

ガソリン給油中は、消火器を持った消火要員を給油作業員の横に配置すること

⑨順位の決定優先順位

完走者のみが入賞の対象となる。完走とは、1位の2/3以上の周回数を周回していること。着順についてはチェッカーを受けた順番によって決定する。尚、コントロールラインを通過しなければならない。

第一優先 - チェッカーを受けた完走者の中から周回数の多い順に決定する。

同一周回数の場合はコントロールラインの通過順により決定する。

第二優先 - チェッカーを受けなかった完走者を周回数の多い順位に決定する。

同一周回数の場合はコントロールラインの通過順により決定する。

⑩ペナルティ

ライダー及びピットクルーは大会期間中、大会規則及び大会役員の指示に従い、違反行為などに対するペナルティには従うこと。

ピットクルーの違反行為に関しては、ライダーが全責任を負うものとする。

イエロー区間での追い越しペナルティに対する抗議は一切受け付けない。

⑪再車検

レース中の重要部品交換（タンク、マフラー、エンジン、フレーム）に関しては再車検を受けること。

スプリント、耐久レース終了後入賞車両はマシンプールを行う。

異議申し立てはレース終了後5分以内とする。また、申し立てを行う場合 5.000 円の異議申し立て料が発生する。異議申し立てがあった場合はチームにてエンジン等の分解を行うこと。

⑫その他

ライダー交代及び給油は電光掲示板下のエリアでのみ可能。

施設のコンセントをタイヤウォーマーへの使用禁止（発電機持参）

サインボードエリア及びコース内サンダル禁止

サインボードエリアでの傘の使用禁止

ゴープロ等の使用可（但し、ヘルメット及び身体への装着不可。落下防止のワイヤリングは必須。）

サーキットにて起きた事故及びケガに関してサーキット側及び主催者側は一切の責任を負わない。

車両規則書

全クラス共通事項

①保安部品

ウインカー、ミラー、ホーン、テールライト、スタンド類、タンデムステップは取り外してください。
エンジンのキルスイッチを必ず設けること（バンドルクリップを握ったまま操作が出来ること）

②タイヤ

スリックタイヤの使用禁止（無差別級を除く）

③ボディーワーク

追突や接触時の危険を避ける為、車両の一部がリヤタイヤの最後端より後に出ないようにしてください。
ハンドルを左右いっぱいにきった時、タンクやカウル等と指をはさまないようにしてください。

フルカウル車両のフロントフェンダー取り外しは出来ますが、フルカウル非装着車両の場合は、フロントフェンダーは必ず付けてください。4stクラス車は必ずオイル受け（0.8リットル以上）を設けること。同メーカーのタンク流用はOKとする。但し取り付けの際、ステイなどはボルト固定のみとする。

④突起物

車両にライダー等を傷つける恐れのある突起物（尖ったレバー、破損して鋭利になった部分）がないように気を付けてください。

⑤チェーンガード&スプロケットガード

全車にチェーンガード&スプロケットガード（フロント及びリア）の取り付けを義務付けます、チェーンガードについては、メーカー純正で装着されているもので十分です。但しボルトにて固定できる物に限る。

⑥ゼッケン

フロントゼッケン・サイドゼッケン3面に出来るだけ大きく見やすい数字のものをご用意ください。

※リアシート形状により、左右のゼッケンを張るのが、困難な場合は、車両の後方から見て分かるように、シートカウル上部ゼッケンを付けてください。また、アンダーカウルの後端左右にサポートナンバーをつけてください

ゼッケン色・ゼッケンベース色の指定はありません。但し番号が分かりやすい色にしてください。

⑦オイルキャッチタンク

オイルキャッチタンクを必ず装着してください。※転倒時に容易に外れたりしないよう固定してください

⑧ガソリンキャッチタンク

ブリーザー付燃料タンク及びキャブレターに必ず装着してください。※キャッチタンク中を空にしておくよう

にしてください。

⑨オイルドレンボルト・オイルフィルターキャップ

ワイヤーロックをしてください。又、フィルターキャップをブリーザーチューブ等に装着するために変更している場合は、ホース等が容易に外れないように固定してください。

各クラス車両規則

SP12、ST125、ST17

下記 URL より確認すること。

https://www.rms.co.jp/kumamoto/motor_sports/circuit_course/event/data/04_carrule_normal.pdf?day=20230123

オープンクラス

規程の排気量以内であれば改造自由（但し全クラス共通事項は必須。）

無差別級

規程の排気量以内であれば改造自由（但し全クラス共通事項は必須。）

